

BOB会九州支部ニュース

(事務局) 住所：〒810-8561 福岡市中央区長浜 1-1-35 新KBCビル5階 (株)JTБ九州本社内
電話：092-751-1742 FAX：092-714-6210
ホームページ http://jtbob.com/kyushu_hp/index.htm

2014年7月号



☆第50回九州支部記念総会は書面にて開催

7月10日(木) ホテルオークラ福岡に於いて開催する予定でした

「第50回九州支部記念総会」は大型台風8号の影響を考慮して中止しました。この結果、総会は書面で開催することとし、当日出席を予定されていた会員の皆様へ改めて書面を発送して、以下の議案について承認頂きました。

1. 【議案】は「総会のしおり」に記載の通りです。

- 1号議案 2013年度活動報告・収支決算について
- 2号議案 2014年度活動方針・収支予算について
- 3号議案 会則の一部改正について
- 4号議案 役員改選について

*決算書、予算書の単位、(千)を(円)に修正いたしました。

*4号議案の役員改選について

役員選考委員長 井出 俊男氏

役員選考委員 今戸 良二氏 南里 主清氏 森内 正樹氏

以上の委員長、委員による選考の結果、BOB九州支部役員(案)の

提案があり、「表決権行使書」により、記載の方々に決定しました。

2. 歴代支部長への感謝状及び記念品贈呈について

感謝状及び記念品は送付をもって贈呈式といたしました。

感謝状は植木桂之介氏、染谷政和氏へは満留支部長名で、満留省吾氏へは織方支部長名で贈呈いたしました。

3. お客様紹介運動表彰者へナイスギフト贈呈について

表彰状及びナイスギフトは送付をもって贈呈式といたしました。

- | | | |
|----|--------|-------|
| 1位 | 栗林 将剛氏 | 社長表彰 |
| 2位 | 宮本 忠則氏 | 〃 |
| 3位 | 坂口 英治氏 | 〃 |
| 4位 | 森内 正樹氏 | 支部長表彰 |
| 5位 | 妹川 攻一氏 | 〃 |

4. アグレッシブ人生大賞・・・本年度は該当の方がいませんでした。

【2014 年度 BOB 会九州支部役員】

(敬称略)

支 部 長	織 方 國 勝 (昇任)
副支部長	宮 本 盛 雄 (昇任)
理 事	齋 藤 睦 子 (留任)
〃	鈴 木 喜 博 (留任)
〃	野 栄 明 (留任)
〃	渡 邊 保 雄 (留任)
〃	井 上 征 夫 (留任)
〃	吉 永 武 彦 (留任)
〃	藤 田 豊 (留任)
〃	高 原 光 義 (留任)
〃	高 橋 栄 二 (留任)
〃	志 水 逸 郎 (留任)
〃	宮 崎 良 介 (留任)
〃	豊 田 修 司 (留任)
〃	最 所 勝 樹 (新任・佐賀地区担当)
〃	岩 佐 隆 司 (新任)
〃	大 迫 安 雄 (新任・鹿児島地区担当)

【退 任】	満 留 省 吾 (支部長)
〃	真 島 正 春 (理 事)
〃	甲 斐 昭 司 (理 事)

幻の「50周年の記念総会」に退任を迎えて

満留 省吾

山笠のクライマックス「追い山」も近い、7月10日に九州各地からたくさんの会員を迎え、支部の50周年・50回目の記念総会を開催する予定でした。しかし、突如として超大型台風が九州に最接近するとの報に接しました。まさに青天の霹靂でした。

急遽、各理事と慎重に種々検討した結果、最終的に「会員の身の安全」を最大限考慮し、開催を中止し「書面総会」とすることに決定しました。

50年に一度という貴重な機会に巡り合えたことを会員の皆様とともに喜びを分かち合おうと早くから怠りなく準備をし、開催を楽しみに待ちわびていただけに、誠に残念の極みです。総会当日、退任の挨拶を兼ねご挨拶をする予定でしたが、それもかなわぬこととなりました。

「幻の総会」となりましたので、挨拶の要旨の一部を紹介することにいたしました。せめて総会の雰囲気だけでも味わっていただくことになれば幸いです。

まずは諸先輩が熱い思いで築いてこられた半世紀の足跡を、簡単にパノラマ的に振り返ってみることにしましょう。昭和40年2月に全国の会員名簿が作成され、初めて西部から6名の方がエントリーされています。この時をもって九州支部のオリジンとみなしていいでしょう。当時の西部とは九州と山口県、広島県の一部でした。今年でちょうど足かけ50年になります。翌年の41年に西部BOB会が発足し、会則が制定され、翌年の42年に会員30数名で正式に西部BOB会の発足総会が開催されています。

初代の支部長は江崎友人氏です。会場は今では福岡市内では大変珍しくなった純和風旅館、若鶴旅館でした。皆さんの中には懐かしい思い出をお持ちの方も少なくないのではないのでしょうか。その後、会員が増えたために手狭になったことや諸般の事情で、城山ホテル、全日空ホテル、へと変更になり、ホテルオークラ福岡さんにお世話になるようになってから10年余りになります。

発足総会の資料や写真が残っていないかご遺族や数人の方に当たってみました。残念ながら残っていないとのこと。また、当時を知る語り部の方も鬼籍には入っておられ、当時の様子をきくことはできませんでしたが、ラテン民族と称される九州の方々のことです。多分、盛会でにぎやかな、楽しい総会と懇親会だっただろうと想像しています。爾来、会を重ねること50回、この間、支部長は私で9人目ですが、残念なことに、すでに6の方が他界されており存命しているのは（植木さん、染谷さん、わたし）の3名だけになりました。時の流れとはいえ一抹の寂しさを禁じえません。西部BOB会は、昭和48年にJTBが営業本部制を導入したのちに、BOB会九州支部と改称されています。半世紀の間に年々、会員も増加し、今や、約350名の会員を擁する大きな所帯となりました。

活動も活発になり、親睦等の行事も増え、会員間の親睦の輪も大きくなっています。また一方では、雲仙普賢岳の災害時、島原市へ義捐金を贈呈したり、阪神淡路大震災の被災会員への義捐金や東日本大震災被災会員へ義捐金を贈呈するなど社会貢献や慈善活動なども行っています。十数年前に4か所からスタートした地区会は去る6月、佐賀地区会が発足しましたので、九州7県全部にネットワークができあがりました。地区会の活動は支部活動の底支えとなっている大事な活動と認識しています。今後のさらなる活発な活動が期待されるところです。

これらのほかにもこの50年間に節目、節目の貴重な歩みがいろいろあります。個々には紹介いたしません。詳細は時系列的に名簿に記載されていますのでそれをご覧ください。半世紀にわたるこれだけの大きなボリュームのページをつづられた諸先輩のご苦勞に改めて心から敬意を表したいと思います。しかしこれも長い間、物心両面にわたってJTBグループからのご支援があったからこそだと思います。心から厚くお礼を申し上げます。

会員の協力、支援は無論であります、忘れてならないのは手弁当のボランティアで支部の活動を担っていただき、屋台骨を支えていただいた、これまでの多くの役員の方々のことです。心から敬意を表し感謝をいたします。万が一こうした役員が途絶えるようなことになれば、支部の存続すら危うくなると言っても過言ではありません。今後も途絶えることがないよう、是非、自主的に次々と役員候補に会員が名乗りをあげられることを切に願っています。

我々のBOB会は一私企業のOB会としては、その活動の実態、しっかりした組織体制は九州では私の知る限り、九電に九友会というOB会がありますが、時節柄、その活動は控えめのようなのですし、成り立ちも若干違いますので今や唯一無二と言っていいでしょう。全国的にみても稀有な存在だろうとおもいます。これらを支えている原動力は古巣のJTBグループと会員との一体感、連帯感だと思います。手前味噌かもしれませんが、九州支部の会員は他の支部よりはより強いという感じがします。そのことが端的に反映されているのが強い結束力とJTBグループへの営業支援の実績です。このDNAは是非次の世代・次の世代へと受け継がれてほしいものです。このDNAとJTBグループの存続と発展があればBOB会の将来は安泰だと確信しています。この半世紀、会員も年々増え、活動の輪も広がり、若干の紆余曲折はあったにせよ、まずは右肩上がり順風満帆だったとあっていいでしょう。

しかし、ここにきて従来の環境とは様相が様変わりになってきました。馬なりでというわけにはいなくなってきています。JTBグループは30年代半ばから40年代にかけて、大量の社員を採用しました。日本人の旅行熱は折からの高度経済成長とともに年々高まって来ていましたが〔新幹線の開通・東京オリンピックの開催・海外旅行の自由化・大阪万博の開催・ハネムーンの普及〕などでさらに拍車がかかり、空前の旅行ブームが到来しました。その需要に対応する必要があったからです。しかし、50年代に入り大量採用の反動もあり、ブームも一段落したこともあって、新規社員の採用を一時中止したり、その後も数年間、採用を抑制しています。また、現在、時代の要請で実質的な定年の延長が行われています。このような背景から今後数年間は極端に退職者が激減する予定です。なかでも、特に九州の状況は諸般の事情で一番厳しくなっています。一方では既存の会員は年々高齢化しています。このような状況に本部は危機感を持ち、具体的な会員の増強と高齢化対策を講じるため昨年プロジェクトを立ち上げ、本年度より取り組むことにしています。

今回本部の会則が改正され、BOB会の正式名称が（JTBグループOB・OG会）と変更になったのはこうしたことが主な要因です。詳細は本部ニュースをご覧ください。しかし、50周年をむかえたのを機に、新たな気持ちで結束を強め、これからさしかかる踊り場に適切に対応し、乗り切ることができれば、次の100年に向け、また新たな前進が必ずできるはずです。最後に、私事で恐縮ですが本総会をもって退任することになりました。2期4年が電光石火のごとくあっという間に過ぎてしまいました。しょっぱなに東日本大震災の洗礼をうけ、翌日は九州新幹線の全線開通による南九州親睦旅行、一昨年はJTBグループ100周年・BOB会60周年のハワイ記念旅行、そして今回の50周年記念総会と明・暗いろいろなことに巡り合いました。

しかし、私の未熟で乱暴な運転にもかかわらず皆様方の協力のお蔭で脱線することもなく、曲がりなりにも任期を全うすることができました。人生の後半で貴重で得難い経験をすることができ、濃密な時を過ごすことができました。望外の幸せでした。改めて、会員の皆様とBOB会に感謝を申し上げます。

BOB会はJTBグループのひげでも、直結した組織でもありません。あくまでも同じ釜の飯を食ったなかまの集まりで自主的に運営する任意団体です。最後に

「OBのOBによるOBのためのBOB会」の言葉を贈ります

九州支部長就任にあたって

織方 國勝

この度第50回記念総会（書面総会）において九州支部長に選任されました織方でございます。

九州支部創立50周年、第50回記念総会という誠に記念すべき節目の年に歴史と伝統ある九州支部長に選任され、大きな誇りと同時に責任の重大さを痛感しているところです。

九州支部50年の歩みは前任の満留支部長が退任挨拶の中で克明に記されていますので詳細は割愛しますが、概括的に述べるとこの50年間は社会全体が高度経済成長に支えられ、東京オリンピック、大阪万博、沖縄海洋博など大きな節目にビッグイベントもありとりわけ旅行業（JTB）にとって飛躍的な成長をとげた半世紀だったと思います。

しかしながら、すべてが順風満帆な時期ばかりでなく、社の存亡を左右しかねる国鉄の民営化、そして90年代のバブル崩壊など、極めて厳しい出来事がありました。社員の強固な結束力、他社の追随を許さない営業推進力、を持ってそれらの苦難を乗り越え現在のJTBグループの礎を築き後輩にバトンを繋げたことは大いに誇りにすべきだと思います。

皆様のBOB会に対する協力と理解のお蔭で支部活動の活発化、支部会員拡大などこれまで順調に推移してきました。

お陰様で支部会員数も5月末現在で354名となりました。

小生が九州支部の事務局を担当していた80年代に50名位の会員数だったことを考えると隔世の感がいたします。

いうまでもなくBOB会の設立目的であるJTBグループへの営業支援（お客様紹介運動）、会員相互の親睦と福祉向上、そして会員増強と3本の柱を基軸に取り組んでいくことは論を待ちません。

しかしながらBOB会の組織運営もいくつかの課題を抱えています。

その最も優先課題が①会員の高齢化②昭和50年代の採用抑制期の社員が退職期に入る③高齢者の実質定年延長などによる会員の減少化傾向期に差し掛かることです。

そこで今後、既退職の未加入者の加入促進そしてグループ会社員の加入促進などあらゆる対策を講じてこの減少化傾向に歯止めをかける必要があります。

次に検討していく課題としては①高齢化に対処可能な支部親睦活動のあり方②支部ニュース、支部ホームページの内容充実③会員相互間の情報交換（近況報告のあり方）など考えていますが、いずれにしても会員の皆様の知恵とアイデアを頂きながら肩肘をはらず愉快地楽しく推進していきたいと思っております。

すでに案内のとおり今年は支部創立50周年を記念して海外親睦旅行を9月台湾に国内親睦旅行を11月紅葉の阿蘇を計画していますので会員の皆様の積極的なご参加をお願いいたします。

最後に「春風を以て人に接し、秋霜を以て自ら慎む」

人に対するときは春風のように穏やかで和やかな心、伸びやかで寛大な心で接し、自分に対するときは秋の霜のように鋭く烈しく厳しい心で律していかなければならないという意味です。江戸後期の儒学者佐藤一斉の言志四録の中の名言ですが、現役から退職後の現在に至るまでこの言葉を肝に銘じて生きてきましたがこの度の支部長就任に当たりなお一層精進しこの名言をかみしめて九州支部の活動執行に一所懸命取り組む決意ですので、会員の皆様のさらなるご支援とご協力をお願いいたします。

☆大分地区会が開催される

6月12日(木)別府花菱ホテルに於いて「第2回かぼす会」が開催されました。当日は(株)JTB九州大分支店、村岡修治支店長、廣原業務課長、BOB九州支部より吉永理事のご臨席を仰ぎ、総勢23名で開催いたしました。河野幹事の司会で始まり、会長の挨拶ののち吉永理事より、今年はBOB九州支部創立50周年の記念行事として海外旅行、国内旅行等のご案内があり、JTB村岡支店長より好調だった昨年の業績に対しての報告とお礼がありました。

渚前会長が声高らかに乾杯の音頭を取り、今年も諸石先輩のご配慮で美味しい料理、素晴らしい眺望を楽しみました。

しばらく歓談ののち今回出席できなかった大分地区会の方々のビデオメッセージをプロジェクターで投影し、ご参加の皆様方から近況報告を頂き楽しい時間を過ごしました。

来年は大分駅ビルをはじめ大分が大きく変わります、新しい大分と楽しい会には是非お越しください。

☆九州支部創立50周年記念行事 (再案内)

6月号支部ニュースでご案内しましたが再度ご案内いたします。皆様方の積極的な参加をお願いいたします。

【海外旅行】

- ・方 面：台湾
- ・期 日：9月25日(木)～27日(土) 2泊3日(福岡空港発着)
但し、鹿児島空港発着は25日～28日の3泊4日となります
- ・日 程：別紙にてご案内します
- ・設定人員：50名
- ・旅行代金：福岡空港発着 83,000円(燃油、空港税を含む)
鹿児島空港発着 93,000円(")
個室追加代金は福岡発27,000円、鹿児島発40,500円
- ・ホテル：台北アンバサダーホテル(台北国賓大飯店)
- ・食事：朝2回 昼1回 夕1回 ※1日目の夕食は支部主催の夕食会です。
- ・2日目は自由行動ですが各種オプションツアーを設定いたします
追加設定・・・支部長杯ゴルフ大会を開催します
- ・参加資格：BOB会員及びその家族
- ・旅行取扱並びに申込先：JTB九州福岡支店 TEL：092-751-9000
- ・募集締め切りは8月8日(金)但し、満員になり次第締め切りいたします

【国内旅行】(予告)詳しくは次回の支部ニュースでご案内します

- ・方 面：2大ゴルフ大会と紅葉の阿蘇を満喫
- ・期 日：11月7日(金)～8日(土) 1泊2日
- ・日 程：原則現地集合、現地解散とします(自家用車相乗りでお願いします)
※但し、福岡地区は貸切バスを準備します。昼食を済ませてご集合ください

◎天神発12:00 ◎基山PA発12:40

7日に①グラウンドゴルフ大会、並びに②ゴルフ大会を開催いたします。

※グラウンドゴルフ大会に参加される方は14:30に阿蘇市農村公園「あぴか」へ

※ゴルフ大会に参加される方・・・後日別途ご案内します

※両方とも不参加の方は16:30に阿蘇プラザホテルへ

- ・設定人員：100名
- ・ホテル：阿蘇プラザホテル
- ・宿泊料金：1泊2食 13,500円(3～4名の相部屋) 15,500円(2名1室)
- ・エキスカージョン：風の丘阿蘇「大野勝彦美術館」と紅葉の阿蘇
※参加代金：2,500円(昼食、美術館入場料を含む)
- ・交通費：原則支部にて負担(車1台につき10,000円。但し、大分・熊本地区は5,000円)
- ・参加資格：BOB会員及びその家族
- ・お申し込みは：福岡地区以外は各地区取り纏めのうえ
10月20日までに支部事務局(担当：荒木・田中)
TEL：092-751-1742 FAX：092-714-6210へ

☆第7回BOB会麻雀大会開催のご案内（再案内）

第7回麻雀大会を下記の通り開催いたします。
多数の皆様の参加をお待ちしています。

記

- 1.日 時：2014年8月26日（火）10時30分集合
- 2.場 所：天神「中国料理平和楼」麻雀倶楽部 092-771-4140
- 3.競技時間：11時～16時頃 ※途中昼食タイムを取ります
- 4.参加費用：2,000円（昼食付）
- 5.競技方法：当日説明いたしますので集合時間をお守りください
- 6.賞 品：多数準備いたしますのでお楽しみに
- 7.参加条件：卓の設定上締切日以降の取消はできるだけご遠慮願います。
- 8.申込締切：2014年8月12日（火）
- 9.申し込み先：
峯原さん 090-2713-7618 梅本さん 092-882-8297 宮崎良介さん 092-582-8864
宮本盛雄 092-929-4212 又は 090-8662-

「お客様紹介運動」の強力推進

6月分の実績は、国内旅行は前年比 39.8%、海外旅行は前年比 49.1%となりました。単品は前年比 48.4%で、単月の合計は前年比 46.2%となり、累計の合計では前年比 99.0%となりました。
会員各位の更なるご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

単位:千円

	国内	海外	単品、旅行用品	ナイスギフト	合計	前年比
販売額	1,617	3,879	209	342	6,047	46.2%
累計	6,484	19,806	944	806	28,040	99.0%

累計件数	46	17	32	18	113	
------	----	----	----	----	-----	--



☆近況報告

桑野 満典さん

引き続き公益財団法人古都大宰府保存協会に勤務しています（4年目となりました）。
今年の4月にはデジタル写真撮影講座へ入学し、写真撮影技術を基礎から勉強中で、休日には“自然”をテーマに写真展・展示用写真撮影に熱中しているところです。9月1日から6日まで福岡市美術館にて受講生の作品展示会が開催され私も2点出品致します。会員の皆様お時間ありましたら是非お越し下さりご覧ください。



小国・小田温泉

佐世保・隠居岳

熊本・瀬の本高原

九重・水辺公園